



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3059 URL <http://company.hiraki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 向畑 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078) 967-4601
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,920	△3.0	514	25.9	505	34.1	340	33.4
29年3月期第2四半期	9,192	2.0	408	29.8	377	37.6	255	62.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 318百万円(98.3%) 29年3月期第2四半期 160百万円(678.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	69.89	—
29年3月期第2四半期	52.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	18,067	5,664	31.4
29年3月期	17,963	5,404	30.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 5,664百万円 29年3月期 5,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
30年3月期	—	10.00			
30年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 29年3月期期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	1.7	1,000	23.0	990	28.2	660	25.4	135.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	5,155,600株	29年3月期	5,155,600株
30年3月期2Q	284,630株	29年3月期	284,630株
30年3月期2Q	4,870,970株	29年3月期2Q	4,870,970株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）におけるわが国経済は、輸出や設備投資を中心に底堅さが見られ、緩やかな景気回復基調にあるものの、米国の政策運営や北朝鮮情勢の緊迫化といった地政学リスクの高まりなど、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが属する小売業界におきましては、景況感の改善が強まる一方で、個人消費の伸び悩み懸念は根強く、経営環境は厳しい状況となっております。

このような状況下、当社グループは、本年度は「2015年度～2017年度 中期経営計画」の最終年度として、靴・履物販売数量ナンバーワンを目指す靴総合販売会社の地歩を固めるべく、安く作り・安く売る体制の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高89億20百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益5億14百万円（前年同期比25.9%増）、経常利益5億5百万円（前年同期比34.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億40百万円（前年同期比33.4%増）と減収増益となりました。

当社グループの報告セグメントの当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、4・5・9月のテレビCM広告、延べ1万ヶ所超のスーパー・100円均一ショップ等へのカタログの無料設置および100円均一ショップのレジ袋へのチラシ封入250万部等販売促進策を実施いたしました。また、商品面では第1四半期は「P I T Tサンダル（499円）」および「J O G軽A i r（780円）」等の販売促進商品を投入し、新規顧客の獲得および既存顧客のレスポンスアップに取り組み、概ね前年並みの受注を獲得できましたが、第2四半期は秋物の販売促進商品の受注が伸び悩み、受注件数は前年同期を下回る結果となりました。

この結果、売上高は45億23百万円（前年同期比2.5%減）となりました。利益面は、為替要因等により売上総利益率が改善し、セグメント利益（営業利益）は5億81百万円（前年同期比31.5%増）と減収増益となりました。

② ディスカウント事業

ディスカウント事業におきましては、来店客数・買い上げ点数のアップおよびP B商品売上構成比のアップを企図したイベントの開催、長期催事を織り交ぜた出張販売の継続実施に精力的に取り組みましたが、競合他店の新規出店等の影響もあり日用雑貨関連を中心に売上確保に苦戦いたしました。

この結果、売上高は41億3百万円（前年同期比1.9%減）となりました。利益面では、P B商品の売上構成比のアップにより売上総利益率が改善したものの、経費の増加により、セグメント利益（営業利益）は94百万円（前年同期比10.1%減）と減収減益となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、新規取引先からの受注を獲得できたものの、大口O E M先2社に対する新商品の売上が伸び悩んだ結果、売上高は2億93百万円（前年同期比21.2%減）、セグメント利益（営業利益）は34百万円（前年同期比37.5%減）と減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億32百万円増加し、115億86百万円となりました。これは、現金及び預金が7億81百万円増加し、商品が2億94百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億28百万円減少し、64億81百万円となりました。これは、建物及び構築物が87百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1億3百万円増加し、180億67百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2億円減少し、44億79百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が54百万円増加し、買掛金が1億10百万円、未払法人税等が42百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ44百万円増加し、79億22百万円となりました。これは、長期借入金が86百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億56百万円減少し、124億2百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億59百万円増加し、56億64百万円となりました。これは、利益剰余金が2億81百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.3ポイント上昇し、31.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ1億18百万円減少し、26億96百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、7億61百万円(前年同四半期は1億15百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5億5百万円の計上、売上債権が2億42百万円、たな卸資産が2億42百万円、仕入債務が1億9百万円減少したことと、法人税等の支払額1億85百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、9億24百万円(前年同四半期は15億89百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出27億円、定期預金の払戻による収入18億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、44百万円(前年同四半期は13億60百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入14億円、長期借入金の返済による支出12億59百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期業績予想に関しましては、本日別途開示の「業績予想と実績の差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,115,582	6,897,416
受取手形及び売掛金	1,176,011	933,434
商品	3,673,013	3,378,137
未着商品	57,379	109,511
貯蔵品	16,174	16,195
繰延税金資産	63,150	56,549
その他	269,272	211,375
貸倒引当金	△17,046	△16,591
流動資産合計	11,353,538	11,586,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,878,606	2,790,797
土地	3,157,566	3,157,566
その他(純額)	229,616	199,761
有形固定資産合計	6,265,789	6,148,125
無形固定資産	169,080	155,912
投資その他の資産	175,471	177,654
固定資産合計	6,610,341	6,481,692
資産合計	17,963,880	18,067,720
負債の部		
流動負債		
買掛金	899,621	789,452
1年内返済予定の長期借入金	2,370,270	2,424,414
未払法人税等	211,631	169,593
賞与引当金	143,523	139,740
役員賞与引当金	-	5,006
ポイント引当金	43,467	32,887
その他	1,012,171	918,740
流動負債合計	4,680,685	4,479,834
固定負債		
長期借入金	7,422,687	7,508,949
退職給付に係る負債	147,283	151,055
環境対策引当金	13,568	13,568
資産除去債務	32,059	32,350
その他	262,651	217,051
固定負債合計	7,878,250	7,922,974
負債合計	12,558,935	12,402,809

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	3,797,377	4,079,342
自己株式	△151,003	△151,003
株主資本合計	5,245,816	5,527,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,273	12,114
繰延ヘッジ損益	129,143	106,795
為替換算調整勘定	18,711	18,221
その他の包括利益累計額合計	159,128	137,130
純資産合計	5,404,944	5,664,911
負債純資産合計	17,963,880	18,067,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,192,997	8,920,282
売上原価	5,281,977	4,962,819
売上総利益	3,911,020	3,957,463
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,098,228	1,109,302
貸倒引当金繰入額	9,602	8,895
ポイント引当金繰入額	56,595	18,495
給料手当及び賞与	881,833	861,625
賞与引当金繰入額	144,651	139,740
その他	1,311,261	1,304,575
販売費及び一般管理費合計	3,502,172	3,442,635
営業利益	408,847	514,827
営業外収益		
受取利息	2,826	2,223
受取配当金	1,221	1,273
デリバティブ評価益	12,248	14,840
受取補償金	2,097	14,767
その他	9,907	17,443
営業外収益合計	28,301	50,548
営業外費用		
支払利息	52,226	46,413
その他	7,707	13,098
営業外費用合計	59,934	59,511
経常利益	377,215	505,864
税金等調整前四半期純利益	377,215	505,864
法人税、住民税及び事業税	138,167	151,339
法人税等調整額	△16,053	14,109
法人税等合計	122,114	165,448
四半期純利益	255,101	340,416
親会社株主に帰属する四半期純利益	255,101	340,416

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	255,101	340,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,110	840
繰延ヘッジ損益	△91,538	△22,347
為替換算調整勘定	△4,119	△490
その他の包括利益合計	△94,547	△21,997
四半期包括利益	160,554	318,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,554	318,418
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	377,215	505,864
減価償却費	164,509	160,132
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,427	△454
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,827	△3,782
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	3,470	5,006
ポイント引当金の増減額(△は減少)	19,104	△10,580
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,312	3,771
受取利息及び受取配当金	△4,048	△3,496
支払利息	52,226	46,413
為替差損益(△は益)	176	△51
売上債権の増減額(△は増加)	26,095	242,321
たな卸資産の増減額(△は増加)	△391,434	242,723
仕入債務の増減額(△は減少)	△131,869	△109,793
その他	△118,740	△89,410
小計	7,272	988,663
利息及び配当金の受取額	4,284	4,468
利息の支払額	△51,726	△46,033
法人税等の支払額	△75,560	△185,497
営業活動によるキャッシュ・フロー	△115,730	761,600
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,700,400	△2,700,600
定期預金の払戻による収入	3,203,400	1,800,000
有形固定資産の取得による支出	△5,492	△17,455
無形固定資産の取得による支出	△83,861	△5,291
投資有価証券の取得による支出	△1,706	△1,757
その他	△1,730	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,589,791	△924,955
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,750,000	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△1,304,242	△1,259,594
配当金の支払額	△48,733	△58,460
その他	△36,794	△37,103
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,360,229	44,842
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,513	△253
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△348,805	△118,766
現金及び現金同等物の期首残高	2,302,735	2,814,882
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,953,930	2,696,116

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,638,608	4,182,279	372,110	9,192,997	—	9,192,997
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,638,608	4,182,279	372,110	9,192,997	—	9,192,997
セグメント利益	442,206	105,260	54,404	601,870	△193,023	408,847

(注)1 セグメント利益の調整額△193,023千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	通信販売事業	ディスカウント 事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,523,235	4,103,875	293,171	8,920,282	—	8,920,282
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,523,235	4,103,875	293,171	8,920,282	—	8,920,282
セグメント利益	581,475	94,655	34,021	710,153	△195,325	514,827

(注)1 セグメント利益の調整額△195,325千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。